

令和3年7月6日

令和3年度 大阪府立羽曳野支援学校 第1回 学校運営協議会

進行 福積  
記録 森本

日時 令和3年7月6日（火）15:00～16:45

場所 大阪府立羽曳野支援学校 図書室

参加者 中條委員 亀田委員 平賀委員（オンライン） 平井委員

大門校長 福積教頭 森本教頭 川野事務長 多田首席 和田首席 岡田首席

井上教諭 大隅教諭

1 校長挨拶

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝します。本日の学校運営協議会で、いろいろな角度からのご意見をいただき、今後の学校経営に役立てていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

2 学校運営協議会議員の委嘱、新事務局員の紹介

西脇PTA会長

大門校長、森本教頭、岡田首席

3 学校運営協議会 議長、副議長の確認

議長：中條委員

副議長：平井委員

4 令和3年度「学校経営計画」について

（大門校長）

（1）令和2年度第3回の学校運営協議会の意見を踏まえた上で、何点か追加し学校経営計画を作成した。

①支援教育における全国的な実態と動向について紹介

②読書活動委員会を中心に読書活動の推進をする。

③ICTを活用した授業をする。

（中條委員）質問

・読書活動の推進について具体的な方法を聞かせてほしい。

（大門校長）回答

・この後の連絡報告で具体的にお伝えする。

（平賀委員）質問

・GIGAスクール構想の実現に向けて1人1台端末整備が言われているが、転出入の児童生

徒が多い羽曳野支援学校ではどのような状況であるか。

(大門校長) 回答

- ・1人1台のiPadが行き渡る環境にあり、その使用方法は分教室によって様々である。

(和田首席) 回答

- ・校長の回答に補足する。母子分教室では、調べ学習の時にiPadを活用している。ベッドサイドでの学習ではインターネットがつながっていない環境であるため、iPadはインターネットをつながないで使用している。

(大門校長) 回答

- ・近畿大学分教室では、教室と病室をインターネットでつなぎ、児童生徒はiPadを使ってオンライン授業を受けている。阪南分教室においては、iPadは学習時のみ使用というルールを適用している。

(中條委員) 質問

- ・全国的にGIGAスクール構想が進められているが、小学校ではどんな状況であるか。

(平井委員) 回答

- ・私が勤務する小学校ではインターネットを無線で結ぶ工事が終わり、ネット環境は整備されている。児童はiPadを家庭に持って帰ることもでき、また休憩時間では自由にiPadに触れることもできる。羽曳野支援学校に転出した児童とオンラインによる交流をしたことで、小学校に戻ってきた時、友だちとの関わりがスムーズであった。

(亀田委員) 意見

- ・ICTという言葉がよく聞かれるが、社会と教育が同じ方向に進むことが理想だと思うので、ぜひ今後もお願いしたい。また明と暗をおさえながらICT教育が進むことも期待する。

(中條委員)

- ・先日、小学1年生から6年生の児童全員が、羽曳野荘（児童養護施設）にパソコンを持って帰ってきた。驚きと同時に、保護者からの立場として学校教育についていかなければと思った。またネット環境を整えることの大切さも感じた。

## 5 連絡報告について

(1) 教科用図書採択について（福積教頭）

- ・本校と訪問部は、羽曳野市採択の教科書を使用している。
- ・各分教室は、堺市採択の教科書を使用している。

(2) 読書活動推進委員会の活動計画・報告について（井上教諭）

- ・幅広い種類の本に触れることの大切さ

- ・本の貸出方法について  
    バーコードを使って各分教室との連携
- ・読み聞かせの大切さ

(中條委員) 感想

- ・羽曳野荘でも新しい本を取り入れたり、読み聞かせボランティアの方に来てもらったりして本に触れる機会を設けている。読み聞かせの後に、大人に読み聞かせをする様子がみられるほど、児童は本に親しんでいる。

(平井委員) 感想

- ・小学校でも、朝の時間を使って読書をしたり、週に1回本を借りる機会を作ったりしている。また読書後に感想を書く「読書ノート」の取り組みは、どんな本を読んでいるのか振り返ることもできている。

(3) オンライン授業による「理科の実験」について (大隅教諭)

- ・訪問部で大切にしていることについて
- ・児童生徒一人ひとりに応じたアセスメントを考えて実施している。
- ・身近なものを用いて学習し、今後に活かしている。  
    今回は「泡の発生」を題材にして授業を展開した。

(亀田委員) 感想

- ・生徒が何を期待しているかを教員が捉えた素晴らしい授業だと思う。  
    授業は社会とのつながりが大切であり、退院後の生活に活かせることと思う。双方向性の授業であったこともよかった。

(中條委員) 感想

- ・生徒が心地よく授業をうけている。満足している様子も見られよい授業だと思う。

(平井委員) 感想

- ・教員も楽しく授業していることがよかった。単に録画を見る授業ではなく、生徒の反応をみながら双方向性のある授業でよかったと思う。

(平賀委員) 感想

- ・オンラインという新しい形の授業でも、教員は生徒のために準備し、また生徒は、自分が大切にされていると感じていてよかったと思う。

(4) 第2回学校協議会日程について

    次回は11月上旬を予定している。

## 6 閉会挨拶（校長）

- ・本日は貴重なご意見ありがとうございました。頂いたご意見をもとに、更に質の高い教育をめざしてまいりたいと思います。

この学校（病弱支援学校）をあまり認識されていない方に発信する必要性を感じていることから、この4月よりホームページの校長ブログで、授業の様子等を紹介しています。そういった発信と同時に、主体的・対話的で深い学びの場になる学校づくりにも励んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。